

南あわじ市社協だより

わかば



第79号

2025年3月発行



Contents

- 地域とともに20年 2・3
- 社協活動掲示板 4・5
- 地域の活動ええ和・話・輪 6
- お知らせコーナー・福祉クイズ 7
- 善意銀行だより 8



この広報誌は一部赤い羽根共同募金の財源を活用しています。

地域とともに20年

～南あわじ市社会福祉協議会のあゆみ～

南あわじ市社協
キャラクター「み～あ」
2009年2月27日生まれ



2005(平成17)年

南あわじ市社会福祉協議会 発足

平成の大合併により、緑町、西淡町、三原町、南淡町が合併し誕生した南あわじ市。時を同じくして、各町単位にあった社会福祉協議会も統合し、「社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会」が誕生しました。旧町社協での取り組みは、各支部活動として残しつつ、新たな一歩を踏み出しました。

2015(平成27)年 事務所統合

2015年に市役所の分庁舎統合・新庁舎移転にあわせて、南あわじ市社協も旧4町ごとに設置していたみどり・せいだん・みはら・なんだんの各支部が統合になりました。現在は、支部運営委員会が旧町単位での活動を続けています。

コロナ禍を経て…

2019年より猛威を振るった新型コロナウイルス感染症。地域の活動にも大きな影響を与えました。「こんな時だからこそ!」と縫いものボランティア「縫野得枝さん」「編方長子さん」が生まれたのもこの時期でした。

「地域」と「防災」を考える

地域のみなさまとともに「防災」について定期的に考える機会を設けています。2008年より、身近な地域で「防災」について考えるきっかけづくりとして、「ぼうさいカフェ」を実施してきました。また、地域の避難所や危険箇所を見える化し、防災について話し合うことを目的に自治会単位での「支え合いマップづくり」を行っています。その後、2018年には市と災害救援協定を締結しました。



地域の「助けて!」を逃さないしくみづくり

生活福祉資金(1955年)、日常生活自立支援事業(1999年)、生活困窮者自立支援制度(2015年)は、各時勢に応じて誕生していますが、いつの時代も「住民一人一人が主体的に安心して暮らすことができる地域づくり」を基本に相談事業や地域支援に取り組んでいます。

地域福祉推進計画も4期目を迎えます!

地域住民や関係機関等と一緒に地域づくりをすすめていくために、方向性や具体的な取り組みを示すものとして「地域福祉推進計画」を策定しています。これまでの活動を振り返りながら、地域のみなさまと話し合いを重ね、策定した計画は現在4期目を迎えます。

- 【第1次】2009年～2011年(3カ年計画)
- 【第2次】2012年～2016年(5カ年計画)
- 【第3次】2017年～2021年(4カ年計画)
- 【第4次】2022年～2026年(4カ年計画)

2017(平成27)年 なでしこデイサービスセンター開所

市内の法人より引き継ぎ、なでしこデイサービスセンターの運営がスタートしました。18歳～65歳の常時介護等を必要とする方を対象とした生活介護と、就学前～小学生を対象とした児童発達支援・放課後等デイサービスを実施しています。

届け! ボランティアさんの思い

南あわじ市では73のボランティア団体が地域で様々な活動をしています。(1月31日現在)
2008年に発行が始まったボランティアセンターだよりも、もう少しで200号に突入します!
ボランティアセンターでは、引き続き情報発信や各種講座の開催を行っていきます。



なつかしのあれこれ。こんな事業もやりました。

ミニデイサービス事業

旧町ごとの4か所で開催され、自立生活の助長・介護予防を促すことを目的に行っていた事業です。ゲームや手芸などのレクリエーションや昼食、健康チェック、送迎などもあり、高齢者の集いの場となっていました。2017(平成29)年度で事業終了となりました。

バス貸出し事業

南あわじ市で活動する団体などを対象にマイクロバスの貸出しを行っていました。ミニデイサービスの送迎の合間を縫っての貸出しでしたが、バスの老朽化とミニデイサービス事業の終了に伴い、バス貸出し事業も終了となりました。

葬祭事業

安定した地域福祉の推進とご家族が安心して葬儀を行えるよう、また費用が少しでも軽減できるよう、旧三原町社協時代に始まった事業ですが、在宅で看取りをする方の減少と、葬儀会社の事業展開・拡大に伴い、事業終了となりました。

食の自立支援事業(配食サービス)

南あわじ市の委託を受けて「食の自立支援事業」として、65歳以上のひとり暮らし高齢者等や、心身の障がいや傷病等の理由で食材の調達や調理が困難な方を対象に、配食サービス事業を旧町単位で実施していました。旧町社協時代の名残を残しつつ、それぞれの地域にあった方法で、たくさんのボランティアのみなさま、民生委員さんにご協力いただいて実施していた「食」の事業ですが、民間の配食サービスの充足により市からの委託が終了し、社協での事業実施は終了しました。

広報「わかば」川柳の足あと

日頃から地域のみなさまに愛読されてきた「わかば」は発行から20年、成人式を迎えました。地域のコーナーでは、季節のお題に沿って、その時々的心情を読んだ「川柳」のみなさまから投稿していただき、その総数は、およそ400句を超えています。この度広報わかばと川柳の足あととして、市内の各公民館に展示させていただいています。心に残る、季節の移り変わりや何げない日常を感じたままに表現された川柳は、見た人を楽しませてくれることでしょう。
※表紙は、福良公民館(～1月31日)での展示の様子です。



南あわじ市社協20周年にあたり

「みんなで考え みんなでつくる 笑顔のまち～つながる つなぎあう～」これは、南あわじ市社協が掲げ続けている福祉目標です。この福祉目標で特に大切にしている言葉は、「みんなで」と「つながる」。ひとは意識しないと身近で起きている困りごとや問題を「他人事」として気づかない。また、自分が困っていても「たすけて」と声にだせないものです。たとえ少子・高齢・単身化がすすんでも、誰かと誰かがつながれば、知り合い「みんな」になることを信じて、この20年ほんとうにたくさんの方と一緒に力を合わせて笑顔のまちづくりをすすめてきました。南あわじ市社協20周年にあたり、これまでお力添えいただいたすべての方に感謝申し上げます。 職員一同



あなたのゲン担ぎは? ●私はここぞって時に!! オロナミンCを飲みます!! 元気になります。(30代・女性) 抜粋して一部紹介します。

あなたのゲン担ぎは? ●がんばった時にはお肉(ステーキ)を食べてパワーをつける。(7歳・男性) 抜粋して一部紹介します。



社協活動

掲示板

福祉教育デザインワークショップ ～福祉学習で暮らしやすい地域づくりを～



昨年の8月23日(金)と今年2月12日(水)の2回にわたり、これまでの福祉学習のあり方を振り返り、これからについて話し合う「福祉教育デザインワークショップ」を行いました。

このワークショップは、学校関係者と障がいのある当事者を、社協がつなぎ、それぞれの福祉教育に対する思いを共有して、お互いの理解を深め、連携を強めていく良い機会となるものでした。

そして、話し合いの内容を盛り込み、新しい『福祉学習ハンドブック』を作りました。

私たちの地域には、さまざまな困りごとをもった方々が生活しています。福祉学習では、そのような方々の思いや実際の生活に触れて理解を深めることで、お互いが暮らしやすい社会について学び知ることができます。また、人や自分を思いやり、それぞれの違いや自分を認める力をはぐくんでいくことで、みんなが気持ちよく暮らしやすい地域づくりを目指しています。

福祉学習を通じて、地域で困りごとを抱えながら暮らしている方々の気持ちがわかり、そのために自分には何ができるのか考えて、やってみようとする行動力につながっていくことを願っています。

社協では、企業や団体、地域、自治会などでの福祉学習も推進しています。福祉に関する勉強会などを検討されている場合は、気軽にご相談ください。



地域福祉フォーラム～『子ども食堂』広げよう、支援の輪!～を開催しました!

2月23日(日)、榎列地区公民館で「地域福祉フォーラム～『子ども食堂』広げよう、支援の輪!～」を開催し、60名もの地域の方にご来場いただきました。

今回は、西淡志知地区で活動されているボランティアグループ「ほほえみ」6人のメンバーと、mottoひょうご栗木剛事務局長をお招きし、「ほほえみ」で取り組まれている子ども食堂の実践報告と、栗木先生や来場者を交えてのパネルディスカッションを行いました。

「ほほえみ」では2か月に1回放課後の時間に、西淡志知公民館で吉備国際大学の学生と協力し、小学生約50人へ材料にもこだわった四季折々の手料理を振舞われています。「ほほえみ」のみなさんは活動について「3年ほど前から子ども食堂に取り組み始め、子どもたちが喜んでくれる姿やメンバー同士のつながりが楽しい」と笑顔で話されていました。また活動の楽しみだけではなく大変なことや今後の展開などたくさんの思いを語っていただきました。

社協では、市内の地域福祉活動の立ち上げや運営の支援、活動資金の助成も行っています。お気軽にご相談ください。



善意銀行

みなさまからの心あたたまるご寄附は“誰もが安心して暮らせるまちづくり”を目指し、地域福祉活動などのために活用させていただいています。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

金銭預託

購入助成事業

チャイルドシート、ベビーカー、歩行補助具(シルバーカー)



貸出用福祉用具などの修理費



安全柵や配布事業

板と土台のみ配布
色塗りは設置者でお願いします



申請方法など事業詳細については、ホームページをご覧ください。

物品預託

古切手・プリペイドカード



ベルマーク



ボランティアさんによる仕分けや点数計算のお返ししています



NPO法人誕生日ありがとう運動本部へ

知的ハンディキャップを持つみなさんと切手をはがす作業をされ、切手ストラップやしおりなど商品化されています

市内小中学校へ

その他に、プルタブは換金して車いすを購入、介護用品(紙パンツなど)は在宅介護者へ、手芸用品はボランティアさんにアクリルたわしやひざ掛けを作っていただき、福祉施設などで利用していただいています。

第4次 地域福祉推進計画・評価委員会

2月7日(金)に、第4次地域福祉推進計画の評価委員会を行いました。

2022年に策定した第4次地域福祉計画も、今年度が中間評価の年に当たります。当日は、12名の委員の方にお集まりいただき、これまでの社協活動を踏まえ、推進計画の評価を行いました。参加いただいた委員からは、「これからも社協と一緒に何かしていきたい」や「情報発信の方法を工夫してほしい」などの意見をいただきました。

地域福祉推進計画とは?

地域福祉(活動)について、社協が地域住民や関係機関などと一緒に進めていくべき方向やそれらの具体的な取り組みを示したものです。



淡路島の社会福祉協議会 職員協議会

『新年の集い』を開催しました!

淡路島3市(淡路・洲本・南あわじ)の社協では定期的に職員同士が集い、勉強会や情報交換をしています。今回は、1月18日(土)に3市社協の事務局長と職員が地域福祉について本音で語り合う『新年の集い』を開催しました!

それぞれの社協の災害への備えや、仕事をするうえで大切にしていることなど、今まで話すことのなかった思いや考えを共有することができました。改めて身近な人と本音で話し合うこと、情報共有の大切さを実感できました。



お知らせコーナー

生活福祉資金のご案内

生活福祉資金とは、相談支援を行ない、必要な資金を貸し付けすることによって、経済的な自立と生活の安定、社会参加を目指した貸付制度です。

- ①総合支援資金 / 臨時特例つなぎ資金
生計中心者の失業などによって生計維持が困難になった世帯に対して、生活再建までの生活費や住宅費など
- ②福祉資金
経済的理由や障がいなどにより生活課題を抱えている世帯に対して、一時的な費用
- ③教育支援資金
学費の捻出が困難な低所得世帯の生徒・学生に対し、高等学校や大学などへの入学・在学中に必要な費用

日常生活自立支援事業のご案内

あなたは、つぎのことで困っていませんか？



福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安がある方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、以下のようなことを社会福祉協議会がお手伝いします。

- ①日常的な金銭の管理
- ②大切な書類などのお預かり
(お預かりできないものもあります。)
- ③福祉サービス利用のお手伝い



地域の活動 ええ 和話輪

学生ボランティアのつどいを実施しました！

1月31日(金)市内在住または在学している高校生、大学生、専門学校生を対象に、次世代の担い手の交流を目的とした『学生ボランティアのつどい』を実施しました。

当日は10名の参加があり、これまで体験したことのあるボランティア活動や、これからやってみたいことを発表した後、英字新聞エコバックをみんなで作成しました。最初は緊張していた学生たちでしたが、あっという間に打ち解け、普段の学校生活のことや趣味、将来のことなどを語りあいました。

普段は学業の忙しさから顔を合わせる機会がないため、学生同士が交流する機会があればとの声をもとに開催した今回のつどい。学生たちが交流したことで、「学校同士でコラボして一緒に活動してみたい」「ボランティア活動の参考になった」「すごく楽しかった。また集まりたい」との声がありました。

ボランティアセンターでは、今後も学生や個人、ボランティアグループなど活動者の声、思いを大切に、交流の場や活躍の場づくりを行っていきます。



福祉クイズ

Q 広報「わかば」は、今年で何周年？

〇〇周年

(ヒント) 特集をご覧ください。

- 前回(第78号)の福祉クイズの答えは「つながり(ワーカー)」でした。
- 応募方法
はがきかメールに ①クイズの答え ②未来の自分へ応援メッセージ ③郵便番号 ④住所 ⑤名前 ⑥電話番号 ⑦年齢をご記入の上、ご応募ください。
 - 締め切り 5月2日(金) 必着
 - 応募先
〒656-0122
南あわじ市広田広田 1064 番地
南あわじ市社会福祉協議会
メール
info@minamiawaji-shakyo.or.jp
 - ◆応募者の中から10名の方に図書カードをプレゼント！
 - ◆当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

ボランティア保険のご案内

ボランティア活動中の事故やケガに備えて、ボランティア保険の加入をお勧めします。

- ①兵庫県ボランティア・市民活動災害共済
内容 ボランティア活動中の万が一の事故に備える保険
①傷害保険金 ②損害賠償責任保険金 ③死亡見舞金
手続 社協窓口にてご加入ください
(氏名・住所・電話番号が必要)
掛金 年間 500円 / 1人
(令和7年4月1日～令和8年3月31日まで)
- ②兵庫県ボランティア活動等行事用保険
内容 事業活動中のボランティアや参加者のケガおよび、主催者が損害賠償を負った場合に備える保険
①傷害保険金 ②賠償責任保険金
手続 社協窓口にてご加入ください。
掛金 1人 50円 (1日 20人以上から)

湊 地区活性化ワークショップ「～湊を〇〇な街にしたい～みんなでつくるまちづくり」

湊活性化委員会が主催となり、「～湊を〇〇な街にしたい～みんなでつくるまちづくり」と題し、12月16日(月)、1月15日(水)、2月26日(水)に3回シリーズでワークショップが開催されました。

湊地区は、旧西淡町の中心地として、漁港や商店街を中心に栄えていました。現在も、医療機関や商業施設があり、西淡地区にとって生活には欠かせない場所となっています。しかし、その一方で少子高齢化や空き家問題などの地域課題も顕著に出てきています。

今回は、そんな湊地区を魅力的にするためのアイデアを出そう!と、地域の活性化を目的にワークショップが始まりました。ワークショップ当日は、年齢や役職に関わらず湊地区に関する様々な方が集まり、地域課題だけではなく、マップを見ながら「子どもが安心して遊べる空間を作れないかな?」「レトロな街並みを活かした景観づくりに取り組んでみようか?」など、前向きな意見が飛び交う時間となりました。

地域課題だけに目を向けるのではなく、湊の良さを再発見し、魅力的な街にするための話し合いがこれからも続いていきます。



善意銀行

だより



令和6年12月1日
令和7年2月28日まで(敬称略)

金銭預託

〇亡き母の供養のため
園生克明

〇寒行浄財として
高野山金剛講阿万支部

〇地域福祉のために

山口 勇
山口 利子
中川 勝喜・順子
藤江 時恵
西淡民生委員児童委員協議会
匿名 2件

★物品の寄附

〇食材・食料品

堀井 正弘 村上洋代美
平 一孝 赤松 さえこ
淡路柔道協会
南あわじ市柔道協会
南あわじ市南淡B&G海洋センター
特別養護老人ホーム太陽の家
いちごの家・楽園おのころ
パソナグループ(株)
南あわじ市消費者協会

〇手芸材料・工作品

稲井 富江 金山和香子
島田 啓子 玉結びの会
灘 なでしこ

〇衛生用品・日用品

山野 絹代 瀬尾 真未
園生 克明 富岡 多希
岸 隆弘
電気のお店くらた

〇生花
岡田 芙美子
〇什器
休暇村南淡路

〇ブルタブ・古切手・書き損じハガキ・
テレホンカード・ベルマーク・牛乳パック

お願い

〇寄附いただいた物品は、
☆新品または新品同様のもの
☆取り扱い説明書のあるもの
にご協力をお願いいたします。

中村 真理 森下 笑子
堂丸 久美 三木 明美
安部 則行 竹中 順子
野口 ますみ 大住 ゆかり
門田 照子 宮内 つかり
島津 尚平 三好 垂矢
山野 絹代 大亦 俊子
垣本 秀子 倉本 徳子
西野 奈美 奥井 勇介
齋藤 矩子 藤江 時恵
柏木 雅文 喜田 進
喜田 眞里子 坂本 トシ子
平田 幸彦 江本 京子・莉彩
小川 芳子 稲井 富江
福本 和子 松風
山本 さく子 岡本 治
金山 和香子 橋本 わかな
松帆 志知川 いきいき百歳体操
いきいきサロンin西路
寿交会 なかよしサロン
どんぐりの里
潮美台1丁目自治会
潮美台民生委員児童委員協議会
大潮荘 湯の川荘
エシエルケア訪問介護事業所
総合衣料玉岡屋
株西中工務店 三栄物産(株)
株大幸 三原ファーム(株)
株あべいすこ さくら苑
沼島郵便局 みなとふれあいサロン
いちごの家・楽園おのころ
匿名 24件

社協インスタグラムのご紹介



@MINAMIWAJI_SHAKYO

社協からの募集案内、イベント開催案内、地域活動の情報についてはこちらから

@MINAMIWAJI_SHAKYO

@NANISUNNODE

市の旧法務局跡地の専用アカウントです。活用についての進捗状況を報告します



@NANISUNNODE

川柳コーナー

地域の方からいただいた川柳をご紹介します。

診察は

一冊読める

待ち時間

長尾 洋子

みなさんへ

感謝感謝の

苦渋吾才

よろけパーサン

シルバーカーをお譲りします

地域の方からご寄附いただきました。ご利用を希望される方は、①氏名 ②住所 ③電話番号 ④希望番号を4月末までに社協までご連絡ください。希望者多数の場合は、抽選により決定し、結果は当選者のみご連絡いたします。



譲渡後の修繕、消耗品の交換については、利用者負担となりますので、ご了承ください。

発行 社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 兵庫県南あわじ市広田広田1064番地

TEL(0799)44-3007(代) FAX(0799)44-3037(代)

URL <https://minamiawaji-shakyo.or.jp> メール info@minamiawaji-shakyo.or.jp



- 〇本部・総務課 ☎ 0799-44-3007
- 〇地域福祉課・総合相談課 ☎ 0799-44-3007
- 〇ボランティアセンター ☎ 0799-44-3007
- 〇障害者基幹相談支援センター ☎ 0799-44-3711
- 〇権利擁護センター ☎ 0799-44-3310

- 〇訪問介護事業所 ☎ 0799-44-3133
- 〇居宅介護支援事業所 ☎ 0799-44-2727
- 〇相談支援事業所 ☎ 0799-44-3711
- 〇なでしこデイサービスセンター ☎ 0799-45-1806
FAX 0799-45-1420

あなたのゲン担ぎは？

●毎朝、神様と仏壇に手を合わせます (60代・女性)

抜粋して一部紹介します。

